

(別表2)

事業所名 グループホーム ノーマライ心の花御成

## 目標達成計画

作成日：平成 27 年 2 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	自治会にも参加し、夏祭りを行うなどして、地域の方との交流を深めているが、自治会の活動が少なく、まだまだ交流の場が少ない。	もっと、地域の方との交流を深め、地域に根ざしたホームになるようにしたい。	自治会の活動への参加も、引き続き積極的に取り組む。また、隣の団地の老人会の集まりに参加する機会を、これまで以上に増やし、お互いに気軽に行き来が出来るような関係性を築くようにする。	24ヶ月
2	10	面会時等に、御家族に状況を説明しているが、家族会会長の引き受け手がない為、現在は家族会会長が不在となり、ご家族の声を反映する場が、以前に比べ、減ってしまっている。	家族会会長が会議等に参加し、御家族の声をきちんと反映できるようにする。	遅くとも今年中には、家族会会長を引き受けていただける様、御家族へお願いする。	12ヶ月
3	20	御家族や知人が面会しやすいような環境作りに努めてきたが、入居者の重度化、高齢化に伴い、御本人とのコミュニケーションが難しくなっている事に加え、家族や知人など、入居者を支える方たちの高齢化もあり、以前よりも面会が減って来ている。	面会の頻度が減っても、御本人や御家族が満足していただける様にする。	御本人の日々の様子など、これまで同様、今後も御家族への説明を密に行い、御本人と御家族にとって、満足できるようなサービスの提供に努めていくようにする。	24ヶ月
4	23	入居者の高齢化、重度化により、御本人の意向を聞くことが難しくなっている。御家族から聞いたり、今までの生活から、思いを把握するように努めているが、御家族も、入居前の関わりが少ないなど、難しい場合もある。	入居前から、入居後も、これまでの生活を大切にし、重度の入居者の方であっても、御家族と共に話し合い、御本人の思いを把握できるようにする。	入居時の口頭によるアセスメントだけでは、十分に把握できないので、入居時にアンケートを記入していただき、入居後も、御本人の様子を観察しながら、思いが把握できるように努める。	24ヶ月
5	49	入居者の重度化、高齢化により、外出の機会が少なくなってしまう方もいる。また、意思疎通が困難な方などもおり、御自分の出掛けたい場所などの把握が難しくなっている。	御自分の出掛けたい場所に、可能な限り、出掛けられるようにする。	これまでも、御家族からお話を聞くなどして、御本人の生活を把握できるように努めてきたが、より詳しく把握出来るように、入居時のアンケートを記入していただき、御本人の出掛けたい場所へ出掛けられるような支援をするように努める。	24ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。